

# ベアを要求

## 3・13貨物総行動



NO. 597  
発行  
07・3月28日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教宣部

### みんながベアを要求する

国労本部 田中副委員長

07春闘は、14、15日～これから本番。みんながベアを要求する情勢になっている。新自由主義～深刻な状況になっている。労働者・国民は実感が無い。毎年、年収が下がっている。格差と貧困～15.3% アメリカについて悪い。非正社員は1/3・2700万人。青年が深刻な状況。

非正社員・15才～34才、平均より2%多い。年収200万円以下～2000万人を超えている。470万人は国民健康保険が払えない。安心して子供を生むことができない～政府は競争社会を認めている。

改革路線～労働法制の改善＝政府。労働者の分配率、人件費を下げる。会社は投資や役員報酬へ配分。株主への配当。

社会の底辺に働く労働者への賃上げを。

貨物の現状 NS 2007の最終年度。人件費率は昭和62年～40.3%、現在は32%を切る。人件費を抑えている。昭和62年に比べると190億円も減少している。合理化による人件費の削減。年休が取得できない実態がある。

JR貨物・20年問題～5年後に対するの施策・社員、家族、労働組合。ベアの実施を。

不採用問題～何としても解決をめざす。貨物会社との和解～健全な労使関係をめざす。



三月十三日十一時より貨物本社前で決起集会が開催されました。全体で四百名が結集し新潟から八名が参加しました。本部、久松さんから開会あいさつが。〇七春闘、一万円の要求・労働条件改善、労働法制改善反対、一〇四七名JR不採用事件早期解決など要求を掲げている。

統一重点要求を完全に実施することなど、中央行動を成功させることなど、中央行動を成功させる要求実現を迫る』とありました。その後、本部・田中副委員長のあいさつ、貨物協・事務長などから団交の経過・状況など報告がありました。各地方など、春闘の取り組みや決意が訴えられ、最後は九州の闘争団から決意が訴えられました。その後、貨物本社へ向けてシユブレヒコール、団結がんばろうがおこなわれました。

### シユブレヒコール



闘争団からは、『七十一上京団、十四名で東京で行動している。四月で二十年。闘争団員は三十八名亡くなつた。全体で四十四名。一日も早い解決が求められている。全体が団結定なみがそろつ。』

今年が解決の年と意思統一。エト七次勧告、政府にどつ守らせていくのか。裁判闘争、五月の連休明け以降に判決がある。今年、何としても解決を。九次にわたる上京行動小倉駅前での四十八時間ハスト九日(十一日)六万円以上の街頭カンパ。市民の中に共感がある。そこから解決への体制ができています』と訴えがありました。

## 今年が解決の年に 九州の闘争団訴え



# 7年ぶりのデモ

集会終了後  
十二時三十分  
から全水道会  
館で、〇七春  
闘学習会が開  
催。講師は埼  
玉大学・安藤  
先生で、『JR貨  
物の現状と課  
題・政府の責  
任』で約一時  
間行なわれま  
した。会場は  
満席で外に組  
合員があふれ  
るほどの参加  
でした。



## 現場・支店・支社をへ 闘争の強化をへ

学習会でのまとめでは、本部から  
〇七春闘 安倍内閣も賃上げを容  
認、十四日、各企業回答、その後、J  
R回答、JR貨物は二十日回答、二十  
日に向けて現場 支店 支社運動、闘  
争強化を。  
労働条件改善、三月十四日第二回  
回交。六十才以上六十五才、働き  
続けられる五十五才以上の賃金改  
善を。  
重点要求 新賃金、初任給、これを  
押し上げる取り組みを」とありました。

## 客貨一体の闘いを

エリア本部・伊藤委員長

〇七春闘 貨物の賃上げ～ベアが実施されてい  
ない。生要求・63000円を超えるアンケート調査結  
果。厳しい生活実態。6年連続の黒字になる、設  
備投資のみ。社員を犠牲にして将来展望が持てる  
か。収益の増は、労働者の働きのおかげだ。

安全問題 乗務員・検修、技術面についてのギャ  
ップ。安全を守っている労働者が怒りを持っている。  
客貨一体となった闘いを強化していく。

新橋支部委員長

100名以上で参加。今日から16日まで春闘行動を  
展開する。外に出て訴える。ひとり一人が立ち上  
がっていく。現場長への交渉も展開しながら、結  
集してきている。労働条件・安全・拡大を職場か  
ら進めていく。事故多発～取組強化・現場管理者  
への対応が安全軽視に。客貨一体となった闘いを  
強化していく。

学習会終了後、デモ行進を実施、  
水道橋から元町公園まで二十分の中  
入でした。当日は素晴らしく晴れわ  
たり暖かかったです。集約集会では、本  
部から『7年ぶりのデモ行進だった。  
二十年目の構造矛盾、その犠牲は  
労働者へ、回交で労働条件その他改  
善要求を闘っていく。明日から取り組  
みを強化し進めていく』とあいさつが  
ありました。

